

＝学校の防災機能を調査しました＝



公明党では、市町村の地域防災計画において学校施設が避難所に指定されており、今その機能の見直しを図られていることを鑑み、わが街の防災総点検運動として、避難所指定されている学校施設の安全性・防災機能の総点検を行いました。

その結果、備蓄物資については市は拠点方式で行っているため、今は全ての小学校にある訳ではないのですが、東日本の大震災など、今までに想定しなかった近年の災害などから、全ての避難所に備蓄する必要があると考えますので、今後は市に分散備蓄を求めていきます。

また災害に備え、最大出力2,5KWのディーゼルエンジン発電機が今年度中に全避難所に設置されます。

今回の調査を踏まえ、
今後更なる防災対策に



公明党として
取り組みます。



発行は、枚方市議会議員大森由紀子です。
市議会 072 - 841 - 7241 (市役所4F 公明党控え室)
連絡先 072 - 847 - 7701 (FAX兼用)
HP <http://www.yukiko-omori.com/>
Eメール yukiko@pearl.ocn.ne.jp

大森ゆきこ



生き活きかわら版

平成23年
冬号

—ごあいさつ—

—厳しい暑さから一転、冬のような寒さになるなど、寒暖の差が激しい本年ですが、皆様には如何お過ごしでしょうか。

市議会では、市長選が終わり、竹内市政、二期目のスタートは9月議会となりました。初日に今期4年間の市長の所信表明があり、以後それに対する各会派からの代表質問ですが、そのトップは私ども公明党です。

私どもは本年4月の市議会議員選挙で、多くの皆さまからさまざまなご意見・ご要望を頂きました。その声をもとに行った代表質問です。内容は、次ページ以降に掲載しておりますので、ご一読下さい。

今後とも皆さまの忌憚のないご意見をお聞かせ頂きますよう、宜しくお願い致します。

大森ゆきこ

＜ご存知ですか～＞ —耳よりな市政の最新情報—

● 耐震診断補助の追加募集を行います!

- ・対象—昭和56年5月31日以前に建築の木造住宅
- ・内容—耐震診断費用の9割(上限4万5千円)を補助
- ・申込—申請は市役所別館3階監察課まで
(建築確認申請書または間取り図持参)

● 子ども手当制度が変更、改めて申請を!

10月から子ども手当の支給額や要件が変更になりました。これまで受給していた人も改めて申請が必要です。対象の方は、送付された申請書に必要な書類を添えて返信して下さい。

新制度での振り込みは来年2月からです。(詳細は年金児童手当課まで)

● 住宅用太陽光発電システム設置に助成!

- ・対象—11月1日以降に電力需給開始、市の補助金を受けた事のない人
- ・内容—1kw当たり3万円(上限10万円)
- ・申込—市役所本館3階環境総務課

11月1日～3月16日まで 先着100件程度

〔行政改革〕

Q：これまで自らが行政改革部を課へ格下げしてきた一方で、今回の所信表明では一転、新たな庁内組織の整備、行政改革大綱の改訂を表明しているが、市長は本当に決意しているのか？その内容について聞く。

A：今回、市長直近の組織を設置し、行政改革を実行しようと考えている。市長等特別職の給与については平成17年以降実施している3%相当の減額を当分継続する旨、今議会に上程した。今後は人員の適正化でスリムな行政組織を構築し、事務事業の総点検を行う事で、民営化、指定管理者制度の拡大、更に外郭団体の統廃合も含めて在り方の見直しを行っていく。

〔被災者支援システム〕

Q：会派として昨年12月議会より要望してきたこのシステムについて導入を表明しているがスケジュールについて聞く。

A：9月議会で上程している補正予算可決後、今年度中に導入していく。

※被災者支援システムとは？

阪神・淡路大震災（1995年）の直後に兵庫県西宮市で開発されたシステムで、災害発生時住民基本台帳のデータをベースに被災者台帳をつくり、(1)家屋の被害(2)避難先(3)犠牲者の有無(4)口座番号(5)罹災証明書の発行状況—などを一元的に管理。氏名などを端末に打ち込めば、被災関連情報をすぐに見つけ出すことができる、というもの。

同市においても、当初、手作業で7時間ほどかかっていた罹災証明書の発行が、導入後1時間程度まで短縮できたという事で、3月に発生した東日本大震災の被災地でも多くの自治体が導入し、円滑な罹災証明ができています。

〔総合文化会館〕

Q：総合文化会館を新町エリアで整備するとしているが、これまで会派として指摘してきた財源確保について聞く。

A：これまで約52億円の積み立てを行ってきた上に、今議会で20億円の積立金を計上した。今後、国の交付金の可能性も検討し、財源確保に努める。

9月議会 公明党の主張

〔乳幼児医療費助成の拡充〕

Q：入院については小学校卒業までと表明されたが、寝屋川市では、この9月から通院も含めて拡充している。見解を聞く。

A：子育て世帯に大きな負担となっている子どもの医療費の助成は必要であると思っているが、多額の財政負担が必要となる事から、まずは来年4月から入院時の助成を拡大し、今後は更なる充実のため、行政改革に取り組み、財源確保に努めていく。



——高齢者支援として——

Q：待機者の多い特別養護老人ホームの整備について見解を聞く。

A：待機者の実情を把握・分析し、今後計画的な整備を進める。

Q：グランドゴルフの活動支援として、その内容を聞く。

A：現在の7か所に加え、今後計画的に施設の充実を図る。

Q：高齢者・障がいのある方・買い物に不便な地域に居住されている方への支援事業の内容と方向性を聞く。

A：買い物が困難な方への支援として、買い物の宅配サービスをする事業者に補助をしていく。

*その他、竹内市政2期目の財政運営・中核市・防犯対策・少人数学級・市内経済の活性化・予防接種・障がい者（児）施策・環境・歴史文化・市駅周辺整備について質問しました。